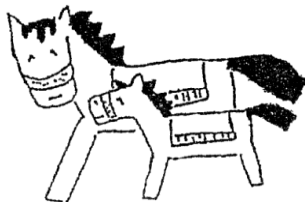


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと

24年 2月 NO. 207



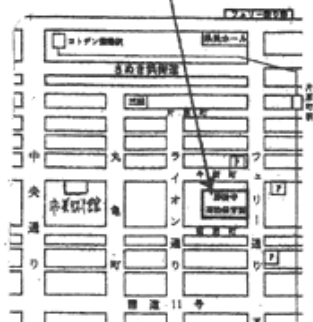
(厚生労働省・高松市委託事業)

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

～どなたでも～		2月の主な活動		～お気軽にどうぞ～	
2月 4日	土	体験保育 10:00～12:00		出産予定の方も子育て体験に おいで下さい。	
2月 9日	木	みすゞさんの会 14:00～16:00		3月3日のコンサートについて 話し合います。	
2月 10日	金	おはなしの会 10:00～11:30		節分をテーマに「おふくとおに」の 大型紙芝居やパネルシアターなどします。	
2月 24日	金	健康・育児相談 11:00～12:00		園医師（小児科）にゆっくり 相談できます。（予約要）	
2月 25日	土	入園前体験保育 9:00～13:00		いつもより長い時間、同じ年齢の クラスですごします。昼食もあり ますので、予約が必要です。	
2月 25日	土	おもちゃづくり 14:00～16:00		CD車輪やまゆ玉づくりをします。 どなたでもどうぞ。	

<p>・火～金の13時～16時までは、園内開放していますので、親子でご来園下さい。 (但し、月・日曜・祭日は休み)</p>	<p>育児相談（月～土）9:00～18:00 しつけや子育てについての悩み、保育園生活、入園・見学についての相談もどうぞ。</p>
---	---

香川県高松市御坊町2-2
高松保育園 地域子育て支援センター



金子みすゞ
童話全集4
空のかあさま・下より

このみちのさきには
みなかみなかあるうよ。
このみちをゆこうよ。

このみちのさきには、
大きな都があるうよ。
さびしそうな案山子よ、
このみちをゆこうよ。

蓮池のなかがえろよ、
このみちをゆこうよ。

このみちのさきには、
ひとりの森があるうよ。
このみちをゆこうよ。

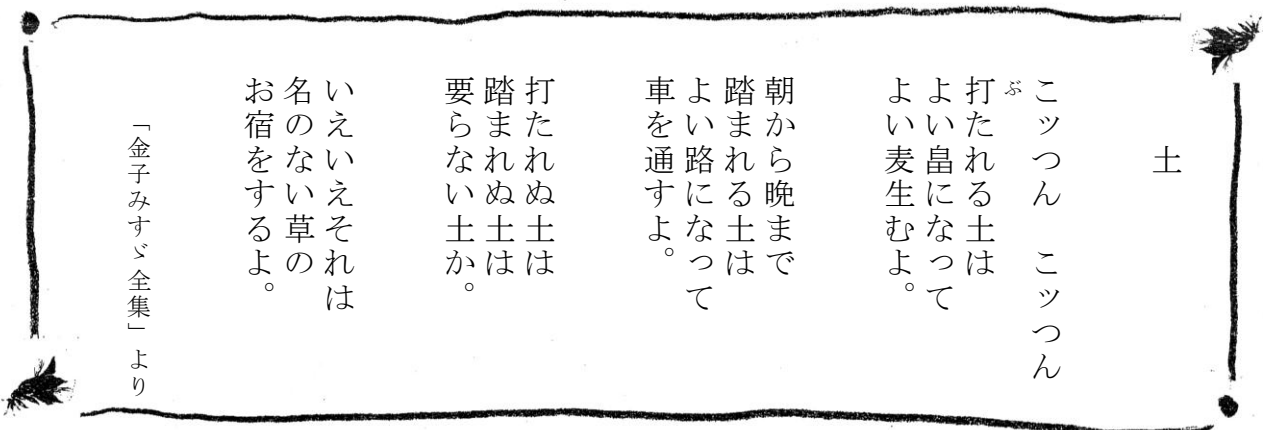
このみち



東北大震災後、金子みすゞさんの詩がテレビのCMで流れ、全国的に関心が広がっています。書店でも詩集の注文が相次ぎ、みすゞさんの出身地、山口県長門市仙崎の金子みすゞ記念館は、開館9年目で来場者も100万人をこえ、詩集も世界11カ国語に翻訳され出版されています。

またNPO法人「金子みすゞ顕彰会」^{けんしょうかい}では被災地救援「こだまでしょうか募金」を始めて7カ月、これまでに小学校857校（岩手県116校、宮城県264校、福島県477校）、中学校396校（岩手県57校、宮城県136校、福島県203校）、計1,253校に金子みすゞさんの本を届けています。

今月はみすゞさん没後、埋もれていた作品を16年もかけて見つけ出し、みすゞさんの思いを語り続けている矢崎節夫氏（童謡詩人）の著書「みすゞコスモス・いのちこだます宇宙」（JULA出版局）からご紹介します。



人類を含めて、すべての動植物、鉱物も地球から生まれました。

“地球は私たちのお母さん”です。

この地球を生み出したのは宇宙ですから、“宇宙は私たちのおばあさん”です。

地球というお母さんは、この世の一つとして無用なものをつくっていません。

すべて、“いるだけで役に立っている”“存在するだけでいい”のです。

ただ、人類という一番最後に生まれてきた私たちが、自分たちの兄弟や姉妹にむかって、これは役に立つ、これは役に立たないと、かつてに区別しているのです。

[打たれぬ土は / 踏まれぬ土は / 要らない土か。 // いえいえそれは / 名のない草の / お宿をするよ。]

地球というお母さんから見れば、何一つ無用な存在はないのです。私たち大人にとって、小さい人たちの存在も同じです。

“いるだけで役に立っている”のです。

“存在してくれるだけでいい”のです。

大人のいうことを聞く、聞かないではなく、ましてや、勉強ができる、できないの問題ではなく、まず、“いるだけで役に立っている”のです。“存在してくれるだけでいい”のです。

しかし、私を含めて、多くの大人たちが、このことばをいってあげなくなりました。いえいえ、その理由すら忘れてしまっているのかもしれない。

「なぜ、小さい人たちはいるだけで役に立っているのでしょうか」「なぜ、存在してくれるだけでいいのでしょうか」

小さい人たちがいてくれるおかげで、私たち大人は日々を過ごすことができるから、というのが答えです。

もし、今、一瞬にして、この地上から小さい人たちが消えてしまったら、私たち大人は引き続きける力を、支えを、失くしてしまうことでしょう。

大人が未来を夢見ることができるのも、世の中がこんなふうになるといいと願えるのも、また、歳を重ねながら、それでも自分をより魅力のある人にしたいと、自分自身を大事にできるのも、“私たちのいのちを確実に未来に運んでくれる小さい人たちがいてくれるおかげ”なのです。

それなのに、こんなに大事なことを、私を含めた多くの大人は、完全に忘れてしまっていたのです。

私たちはいつの間にか、小さい人たちが存在してくれることのありがたさを意識することなく、当然、いるのがあたりまえと、一方的に思ってきたのです。

そろそろ、このことに気づく時ではないでしょうか。

私たち大人にとって、いえ、人類全体にとって、未来にいのちを受け継いでくれる小さい人たちは、“いるだけで役に立っている”のです。“存在してくれるだけでいい”のです。

このことばを、大事な小さい人たちに、きちんといってあげられる大人でいたいと、反省を込めて思います。

蛙

憎まれっ子、
憎まれっ子、
いつでも、かつでも、誰からも

雨が降らなきや、草たちが、
「なんだ、蛙め、なまけて。」と、
それをおいらが知る事か。

雨が降りだしや子供らが、
「あいつ、鳴くから降るんだ。」と、
みんなで石をぶつつける。

それがかなしき、口おしき、
今度は降れ、降れ、降れ、となく。

なけばからりと晴れあがり、
馬鹿にしたよな、虹が出る。

「金子みずす全集」より

桂枝雀さんの『雨乞い源兵衛』風にいえば、「お天気と申しますものは、なかなか当たらないものやそうでございます……なぜ当たらないかという、人や蛙よりお天気の方が歴史が長いのでございます。人や蛙は地球の歴史からしたら、ほんこないだからです。お天気の方は、ずっとお天気だったわけでございます。人や蛙とは歴史がちがいます」

それなのに、人はなんとかってなのではないでしょうか。ふらなきやふらないで、ふればふるわで、蛙のせいだというのです。

子どものころ、一年に一度、何年か続いて、玄関の前に、大きな蛙がいたことがありました。とにかく大きくて、玄関に向って、どんと座っているのです。父と二人で、なんとか大

きなビニール袋に追い込んで、近くの後楽公園に逃しにいきながら、「大昔は家のところが、蛙の通り道だったかもしれないね。家が建ってずいぶんすぎているのに、きっと歩きたくなっちゃったんだね」と父が話してくれたのを覚えています。

蛙・かえるといえば、目の位置をかえると、素直でいい子は危ない子と思える出来事がありました。

ここ数年、さまざまな考えられないような事件を起こした人たちがいますが、その人たちの子どものころの評判の多くが、「素直で、いい子」だったというのです。

素直でいい子が大人になって、人としてのやさしさもない行動がとれるのでしょうか。

きっと、ここでいう、素直でいい子とは、一度も親を困らせたり、叱られたことがない、親が手抜きができた子という意味ではないでしょうか。

お父さん、お母さんは、子どもが困ることをするから、親ができるのです。しかし、ここでいう、素直でいい子は、親に手抜きをさせ、親として伝えるべきことを、伝えさせなかった子どもです。

大切なことを聞く機会もなく大人になり、突然、びっくりするようなことをいう人に出会って、心酔してしまったのでしょうか。

今、私はこう思います。

“素直でいい子は、親の手抜きをさせる危ない子”

“少くくらい親を困らせたり、心配させる子は、長い目で見ると、お父さん、お母さんに親をさせてくれる親孝行”だと。

私たちが子どもの親として、大切なことをしっかり教えることができるのは、一生のうちでわずか十数年です。あとはそれぞれが自分で考えて行動していくようになるのです。

大事な子どもたちが、自分で考えて行動する長い年月を倖せにすごせるように、親である私たちは、叱ったり、怒ったりしながら、大切なことをきちんと教える親でありたいし、子どもであってほしいなと思います。

蛙から父のことばを思いだし、さらに、ずいぶん父や母を困らせた子どもだったなと思いながら、泣きながら叱ったり、怒ったりしてくれた両親のおかげで、今ある自分と思いました。

金子みすゞさんの詩をオカリナと唄で聴く

みすゞコンサート



1部 オカリナ アンサンブル〈花音〉による演奏と朗読

2部 ちひろさん(シンガーソングライター)による唄

日時 平成24年3月3日(土) 会場:13時30分 開演:14時

場所 高松市生涯学習センター3階多目的ホール 高松市片原町11番地1 TEL 087-811-6222

*3階ロビーにてみすゞ展同時開催

入場料 無料 定員220名

主催 高松保育園 子育て支援センター 香川みすゞさんの会

共催 高松市教育委員会

お申し込み先 高松保育園 堀 TEL 087-821-5241 FAX 087-851-0857

浮田 TEL 080-3923-1867